

2021 年度関東 420 セーリング選手権大会 兼 2021 年度年土浦市長杯ヨット選手権大会

日程:2022 年 3 月 25 日(金)~27 日(日)

競技種目:420 クラス レーザークラス

開催地:茨城県土浦市ラクスマリーナ

大会組織

主催:茨城県セーリング連盟

後援(予定):土浦市 日本 420 クラス協会

大会会長:安藤 真理子(土浦市長、茨城県セーリング連盟会長)

大会副会長:高橋 勤司(茨城県セーリング連盟理事長)

帆走指示書(SAILING INSTRUCTIONS)

1. 規則

- 1.1 本レガッタは、セーリング競技規則 2021-2024(以下規則)、クラスルール、レース公示(以下 NOR)、この SAILING INSTRUCTIONS(以下 SI)およびクラスルールを適用する。
- 1.2 SI は NOR よりも優先する。これは規則 63.7 を変更している。
- 1.3 本大会において、全ての規則を決定するのは次の通り。
 - 1.3.1 【DP】は、プロテスト委員会の裁量でペナルティーが決定する規則を意味する。
 - 1.3.2 【SP】はレース委員会が審問なしに標準ペナルティーを適用することができる規則を意味する。レース委員会は抗議することもでき、その場合は審問を経てプロテスト委員会の裁量でペナルティーが決定される。
 - 1.3.3 【NP】は、この規則に違反する艇による抗議の根拠にならないことを意味する。これは規則60.1(a) を変更している。
 - 1.3.4 ペナルティーは付則P及び付則Tを適用する。
- 1.4 艇は自らの安全のために、マスト・トップに浮力体を取り付けることができる。420 級については、規則 87 および 420 クラス規則 A.8.2 に基づき、420 クラス規則の C.5.1a に以下の文を追加する。

「艇は、水深が浅く、完沈を防ぎマストの屈曲を避けるために、マスト・トップに揚力を起こさない形状の浮力体の取付けを認める。」

2. SIの変更

- 2.1 レース日程の変更は、それが発効する前日の18:00までに掲示される。
- 2.2 SIの変更は、それが発効する当日の当該クラス予告信号予定時刻の60分前までに掲示される。但し、ブリーフィングにおいて帆走指示書の変更が出た場合はこの限りではない。

3. 選手とのコミュニケーション

- 3.1 競技者への通告は、選手および運営スタッフの密を避けるため、LINEオープンチャットにて実施していく。尚、ラクスマリーナ事務所に設置する公式掲示板にも同様の掲示を実施するが、LINEオープンチャットが優先される。
- 3.2 LINEオープンチャットは、以下のQRコードから参加するクラス別にLINEオープンチャットに大会4日前までに登録、参加をすること。LINEオープンチャットはレース委員会からの発信など連絡用として使用する。(尚、選手からの投稿は認めない)

オープンチャット

「2021年度関東420選手権大会 兼 2021年度土浦市長杯ヨット選手権大会」



- 3.3 LINE オープンチャットで使用するプロフィール名は大会参加のクラス・セールナンバーで1艇1名の登録とする。
(選手登録例 クラス_セールナンバー:420 12345、ラジアル 123456)
(コーチ サポーター登録例 クラス_団体名)
- 3.4 【DP】レース中緊急の場合を除き、艇は音声やデータを送信してはならず、かつ、すべての艇が利用できない音声やデータ通信を受信してはならない。
- 3.5 ブリーフィング等は「Zoomミーティング」を使用して行う場合がある。

4. [DP]行動規範

競技者および支援者は、レース委員会からの合理的な要求に応じなければならない。

5. 陸上で発せられる信号

- 5.1 陸上で発せられる信号は、ラクスマリーナの掲揚ポールに掲揚する。
- 5.2 回答旗が掲揚された場合、レース信号『回答旗』中の「1分」を 40 分以降と置き換える。
- 5.3 【DP】【NP】D旗が掲揚された場合、「予告信号はD 旗掲揚後 40 分以降に発する。」ことを意味する。艇は、この信号が発せられるまで出艇してはならない。

6. レガッタフォーマット

本大会は男女の区別をしない大会である。

7. スケジュール

7.1 レース日程

Date	Time	Event
2022/3/25(金)	13:00~17:00	大会受付
	9:00~16:00	海上練習可能 (大会本部は、海上自由練習に対して監視・救助体制を組まない。)
2022/3/26(土)	8:00~8:50	大会受付
	9:00	開会式
	9:15	ブリーフィング
	10:30	最初のクラス 第1レーススタート予告信号予定時刻
2022/3/27(日)	8:15	ブリーフィング
	9:25	最初のクラス レーススタート予告信号予定時刻
	15:30	閉会式

- 7.2 最大レース数は7レースとする。
- 7.3 1日に行う最大レース数は4レースとする。
- 7.4 1つのレースまたは一連のレースが間もなく始まることを艇に注意を喚起するために、予告信号を発する最低5分以前に、音響信号1声とともにオレンジ色のス

タートライン旗を掲揚する。

7.5 上記のスケジュールは、レース委員会の裁量により変更されることがある。

7.6 レースの予定された最終日には、14:00 より後に予告信号を発しない。

8. クラス旗

クラス旗は以下の通りとする。

Event	Class Insignia
420 クラス	緑地の 420 クラス旗
レーザーラジアルクラス	緑地のレーザークラス旗

9. レースエリア

9.1 レースエリアのおおよその位置は、SI添付図1に示す通りである。

9.2 添付図1通りのレースエリアとならなくても、艇からの救済要求の根拠とはならない。これは規則62.1(a)を変更している。

10. コース

10.1 SI添付図2のコース図は、各レグの概ねの角度、最初のレグのおおよその通過する側を含むコースを示す。

10.2 各クラスの予告信号以前に、レース委員会の信号船に帆走するコースおよび最初のレグのコンパス方位を掲示する。

11. マーク

マークは以下の通りとする。

Mark 1,2,3,4	New Mark
黄色の 円筒型ブイ	赤色の 円筒型ブイ
Start Line Mark	Finishing Line Mark
レース委員会船	オレンジ色の 俵型ブイ

12. スタート

12.1 スタート・ラインは、スターボードの端にあるレース委員会船のオレンジ旗を掲揚しているポールと、ポートの端のオレンジ旗を掲揚しているレース委員会船のポールの間とする。

12.2 【DP】他のレースのスタート手順の間、予告信号が発せられていない艇は、スタートラインから概ね100m以内の範囲とコースサイドから離れていなければならない。

12.3 スタート信号の4分以内にスタートしない艇は、審問なしに「スタートしなかった (DNS)」と記録される。これは規則A5.1およびA5.2を変更

12.4 規則30.4(黒色旗規則)に以下を変更、および追加して適用する。

(a)セール番号をスタート信号艇に掲示する。セール番号掲示の際は長音が発せられる。セール番号が掲示された艇は、新しい準備信号までにSI12.2に定義されるレースエリアを離れなければならない。それに従わない場合、その艇は審問なしにDNEと記録される。

13. コースの次のレグの変更

コースの次のレグを変更する為に、レース委員会は、(a)新しいマークを設置するか、(b)フィニッシュ・ユ・ラインを動かすか、(c)風下ゲートを動かす。また、実行できれば直ぐに元のマークを除去する。その後の変更で新しいマークを置き換える場合、そのマークは元のマークで置き換える。

14. フィニッシュ

フィニッシュ・ラインは、レース委員会船の青色旗を掲揚しているポールと、スターボードの端のオレンジ色の俵型ブイのフィニッシュマーク、もしくは青色旗を掲揚しているレース委員会船のコース側間とする。

15. ペナルティー方式

15.1 規則42条違反に対し、付則Pを適用する。

15.2 付則P.2.3は適用されず、付則P.2.2を変更し、2回目以降のペナルティーに適用される。

16. タイム・リミットとターゲット・タイム

16.1 マーク1のタイム・リミット、レース・タイム。リミット(規則 35 参照)および、フィニッシュ・ウィンドウターゲットタイムは以下の通りとする。

Mark1 Time Limit	Time Limit
20 分	60 分
Finish Window	Target Time
10 分	35 分～40 分

- 16.2 マーク1のタイムリミット内に1艇も最初のマークを通過しなかった場合、レースは中止される。
- 16.3 規則28に基づき、規則30.3、規則30.4に違反しないでスタートした最初の艇のフィニッシュ後10分以内にフィニッシュしない艇は「フィニッシュしなかった (DNF)」と記録される。これは規則35 及び、付則A4、A5、A10を変更している。
- 16.4 ターゲットタイム通りに ならなくても艇の救済要求の根拠とはならない。これは規則62.1(a)を変更している。

17. 審問要求

- 17.1 抗議締切時刻はその日の最終レースに最終艇がフィニッシュした後、またはレース委員会が本日これ以上レースを行わないという信号を発した後、どちらか遅い方から70分とする。時刻は公式掲示板に掲示される。
- 17.2 審問要求の様式は、事前に以下のURLよりダウンロードするかラクスマリーナ事務所内レースオフィスにて入手できる。
【日本セーリング連盟 ルール委員会】
<https://www.jsaf.or.jp/hp/about/committee/rule/rule-form>
- 17.3 審問の当事者であるか、または証人として名前があげられている競技者に知らせるために、抗議締切時刻後15分以内に通告する。審問はラクスマリーナ内にて実施される。
- 17.4 裁量ペナルティーの対象となる規則に違反した艇は、その違反に関する審問より前にこれらの違反に関する審問より前に、レースオフィスにて入手できるペナルティー報告に自ら違反したことを記入して提出することで、規則64.6Iに基づく報告を行うことができる。
- 17.5 【SP】と表記された規則違反のペナルティーは、公式掲示板に掲示される。
- 17.6 付則Pに基づきRRS 42違反に対するペナルティーを課された艇のリストは掲示される。

18. 得点

- 18.1 本大会は付則Aを適用する。
- 18.2 シリーズが成立するためには、1レースを完了することを必要とする。

- 18.3 完了したレースが4レース未満の場合、艇のシリーズの得点はレースの得点の合計とする。
- 18.4 4レース完了した場合、艇のシリーズの得点は最も悪い得点を除外したレースの得点の合計とする。

19. 【DP】【NP】安全規定

- 19.1 レースに参加する艇は、水上にいる間(420)長さ8m以上で直径8mm以上の浮く曳航ロープがマストに取り付けられていなければならない。(レーザージャアル)長さ5m、直径6mm以上のバウラインをバウアイに取り付けておかなければならない。
- 19.2 【SP】チェックアウト、チェックイン
本大会はレース委員会が用意する書面を用いてチェックイン、チェックアウトを行う。チェックイン、チェックアウトの実施場所は公式掲示板前とする。
- 19.3.1 レースに参加しようとする競技者およびサポートボートは、レース委員会が用意する所定の様式に記入し、チェックアウトを行うこと。また、レースに参加しない競技者(艇)、およびサポートボートは、その日の予告信号40分前に「リタイア申告書」をレース委員会へ提出すること。
- 19.3.2 帰着した艇の艇長及びサポートボートは、帰着後速やかに、また、その日の最終レース終了後または、これ以上のレースを実施しないという信号を発した後、どちらか遅い方から80分以内にチェックインを行うこと。
- 19.3.3 海上でリタイアしハーバーへ帰着する艇は、レースエリアを離れる前にレース委員会にその旨を伝えること。また、帰着後速やかにレース委員会に伝えなければならない。また、帰着後速やかにSI 19.2.1の「リタイア申告書」をレース委員会へ提出すること。
- 19.3.4 一度ハーバーに帰着した艇(SI 19.2.3)および、SI 19.2.3の「リタイア申告書」を提出した艇が再度レースに参加しようとする(出艇)場合は、再度チェックアウトを実施すること。
- 19.4 レース中でない艇は、レース中の艇から離れていなければならない。
- 19.5 乗員は離岸から着岸までの間、十分な浮力を持つライフジャケットを着用していなければならない。ただし衣服の着脱に携わる短時間の場合を除く。これは規則40を変更している。ウェットスーツ、ドライスーツは個人用浮揚用具ではない。
- 19.6 レース艇が救助を求める場合は、救助する船に対して片手を高く上げ左右に振って合図を送ること。

- 19.7 レース委員会またはプロテスト委員会は、危険な状態であると判断したレース艇に対してリタイアを勧告する。また、緊急救助を要すると判断した場合には、競技者の意思に拘わらず強制的に救助できる。救助されたことによる艇からの救済要求は認めない。これは規則 62.1(a)を変更している。
- 19.8 レース委員会艇が F 旗を掲揚した場合、すべてのレース委員会艇およびサポートボートは危険な状態にある艇を可能限り速やかに救助しなければならない。

20. 【DP】【NP】乗員の交替と装備の交換

- 20.1 乗員の交代は許可しない。
- 20.2 損傷または紛失した装備の修理または交換は、レース委員会の承諾なしでは許可されない。修理または交換の要請は、最初の妥当な機会にレース委員会に行わなければならない。

21. 装備と計測のチェック

艇、装備および衣類がクラス規則と SI に従っていることを確認するため、検査されることがある。

22. レース委員会艇の識別

運営艇の標識は以下の通りとする。

Boat	Flag Description
レース委員会	白色旗
プロテスト委員会	緑色旗

23. [DP]支援艇

- 23.1 支援者は、最初にスタートするクラスの準備信号から全ての艇がフィニッシュするか、リタイアまたは、レース委員会が延期、ゼネラルリコールもしくは、中止の信号を発するまで、艇がレースしているエリアの外側にいなければならない。ただし、レース委員会、プロテスト委員会からの要請時は除く。
- 23.2 支援艇の乗員は、離岸から着岸まで、衣服または個人装備を一時的に整えたりする場合を除き、個人用浮遊具を着用していなければならない。尚、ウェットスーツ、ドライスーツは個人用浮遊具ではない。
- 23.3 支援艇のドライバーは、艇外に投げ出されたり、その他の理由で艇がコントロール不能とならないために、支援艇のエンジンが動作している時は常にキルコードを装着していなければならない。

23.4 支援艇はレース委員会が用意するピンク旗を掲揚しなければならない。

24. [DP][NP]ゴミの処分

ゴミを故意に投棄してはならない。ゴミをレース委員会船に渡してもよい。また、競技者は飲料水、食料、衣料等の荷物を一時的にレース委員会船に渡してもよい。ただし、レース中に支援艇もしくはレース委員会船との荷物の受け渡しを行ってはならない。

25. [DP][NP]無線通信

レース艇は水上にいる間は、無線送信ならびにすべての艇が利用できない無線通信の受信をしてはならない。また、この制限は携帯電話にも適用される。

26. 賞

賞を各クラス上位 3 チームに授与する。

27. リスクステートメント

規則 3 には『レースに参加するか、またはレースを続けるかについての艇の決定の責任は、その艇にのみある。』とある。大会に参加することによって、それぞれの競技者は、セーリングには内在するリスクがあり、潜在的な危険を伴う行動であることに合意し、認めることになる。これらのリスクには、強風、荒れた海、天候の突然の変化、機器の故障、艇の操船の誤り、他艇の未熟な操船術、バランスの悪い不安定な足場、疲労による傷害のリスクの増大などがある。セーリング・スポーツに固有なのは、溺死、心的外傷、低体温症、その他の原因による一生消えない重篤な傷害、死亡のリスクである。

28. [DP][NP]保険

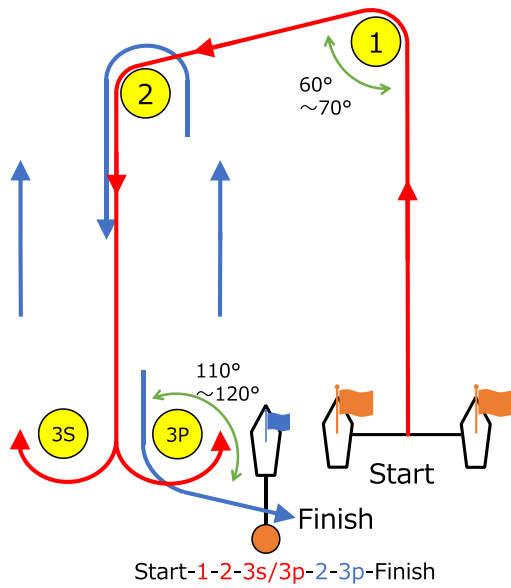
競技者は、有効な傷害保険および第三者賠償責任保険に加入していなければならない。

添付図 1 レースエリア

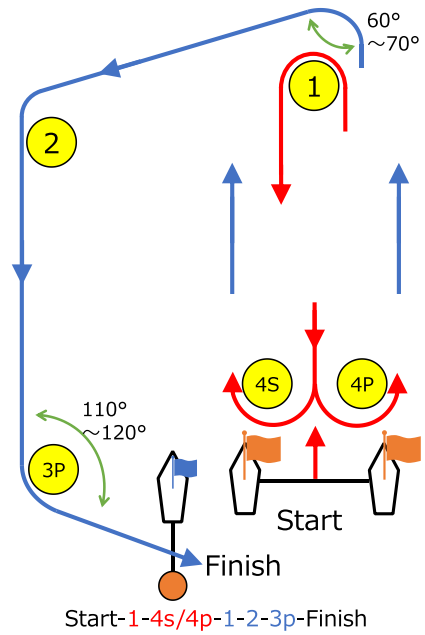


添付図 2 コース図

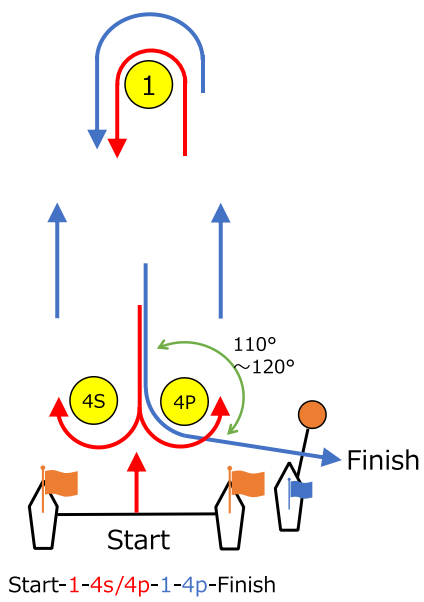
O2



I2



LR



WL

